

工場設置促進条例 国保税の改正など 21議案を可決



市議会6月定例会

積極的に企業誘致活動 新「工場設置促進条例」を制定

市議会六月定例会が、六月九日から十二日間にわたって開かれた。今定例会には、「六十一年度一般会計補正予算案」や「市税条例の一部改正条例案」、「工場設置促進条例」などが提出され、慎重な審議が行われた結果、全議案が可決されて閉会しました。

企業誘致を促進するために昭和三十九年に制定した条例を全面的に見直し、より積極的に企業誘致を図るための新しい「工場設置促進条例」が議決されました。

新条例は、積極的に企業誘致活動を行い、地域産業の振興発展と雇用機会を増やすために制定したもので、企業誘致を図るための奨励措置としては

- ・ 固定資産税の課税免除
- ・ 雇用奨励金の交付
- ・ 用地取得助成金の交付
- ・ 福利厚生施設などへの助成金交付

となっています。市では、この条例をもとに企業誘致活動を活発に展開していくことにしています。

一般会計に 三億八千万円追加

六十一年度一般会計の歳入と歳出にそれぞれ三億八千四百六千円が追加して、予算総額は百四十七億四千四百九十二万円となりました。

歳入の追加で主なものは

- ▽六十年度からの繰越金 一億四、五五六万円
- ▽国庫支出金 一億四、〇三九万円
- ▽市債 五、一九〇万円
- ▽県支出金 一、〇八二万円

歳出の追加で主なものは

- ▽共同福祉施設建設工事費 雇用促進事業団が商工会館東側に建設する共同福祉施設建設費の一部を負担します。
- ▽金属鉱業危機突破中央集会の負担金 一五〇万円

二井山地区に 簡易水道

「水道事業の設置等に関する条例」の一部改正条例が議決され、花岡町二井山地区へも給水することになりました。

これは、土目内・繁沢簡易水道の給水区域と給水量を拡張して、水不足が深刻な事態となっている二井山地区へ給水するものとす。同地区への給水工事は、約五千万円の予算で、七月中旬に着手し、十月末完成を目指して工事を行います。

公平委員に 湊寅之助氏を再任

公平委員の湊寅之助氏（花岡町字神山・70歳）の任期が六月三十日で満了となるので、その後任人事案件も議決され同氏が再任されました。

市長の 対話ノート



No.134

ゴールを目指して

昭和五十六年にスタートした十年先の大館の都市像「総合開発計画」もお陰様で前期五カ年を終えることができました。五十七年から始った国の公共事業抑制（ゼロ・マイナスシーリング）などで大変苦労しましたが、目標達成率九六・六パーセントとなりました。この前期五カ年の成果と反省、そして先々の経済動向の展望等を見ながら後期五カ年計画の見直しをしました。この作業に当たり、市民各界を代表する方々から幅広い貴重なご提案をいただき、それを柱に後期計画を決定させていただきました。関係されました方々のご労苦、ご協力に改めて深くお礼申し上げます。

五年先のゴールを目指して、今年スタートしましたが、予想をはるかに超える円高と市場解放の外圧を受け、一次産業はその構造の変革を求められる深刻な事態に直面し、特に大館の農業、林業、鉱業という素材産業は過去に経験したことのない大きな試練に立たされました。

どんな困難があろうとも、これを乗り越えなければ生きられません。私は職員と共にその先頭に立ちます。また各地区ごとの課題には職員でプロジェクトチームを編成し、その解決に向けて全力をあげてまいります。

角田健治